

DPC 制度の基本的な考え方に関連する論点

機能評価係数の見直し、抗がん剤を含む高額薬剤等の取扱い（包括範囲のあり方）等、今後の具体的な検討を進める上で、DPC 制度の基本的な考え方に関連した以下のような事項や論点についてどう考えるか。

① 包括評価の対象患者

- 現行 DPC 制度の対象患者・除外患者の整理について課題はあるか。あるとすればどのような課題か。（基本的考え方に照らして見直すべき点はあるか）
- 精神病棟への DPC 制度適用についてどう考えるか。

② 包括評価の対象とする診療報酬項目（包括範囲）

- 包括範囲については、今後、抗がん剤を含む高額薬剤等の取扱い等に関する検討の中で改めて議論し整理する予定。
- その前提で、現行包括範囲の設定の基本的考え方について、課題があるか。あるとすればどのような課題か。

③ 包括評価の算定方式（1日当たり定額報酬算定）

- 包括評価の算定方式として、現行 DPC 制度では、制度導入時の様々な検討の結果として、1日当たりの定額報酬算定方式が採用されている。
- 現時点でこの算定方式について課題があるか。課題があるとしたら、どのような課題か。
- 1日あたり定額報酬の具体的な設定方法として、平均在院日数を勘案した3段階の設定方式（入院期間Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）としているが、この評価手法について課題はあるか。あるとすればどのような課題か。

④ 医療機関別係数による評価

- 医療機関別係数のあり方については、次回以降、更に具体的な論点を整理して検討する予定。
- その前提で、現行の医療機関別係数の設定による評価（定額報酬に対する乗数設定）という基本的な考え方について、課題があるか。あるとすれば、どのような課題か。